

ワークシートの問題にチャレンジ！解説（室戸市観光ガイドの会）

ワークシートの問題にチャレンジ！

★ジオパークガイドのワークシートの内容を詳しく見ていきましょう！

【初級編】問3. 「行当岬の地層はどちら側が上でしょうか？」

室戸岬や行当岬で見られる地層は、浅い海の土砂が地震などで混濁流となり、さらに深い海へと運ばれ、海の底に溜まってできたものです。そのとき大きい粒子ほど早く沈むので、地層の下部はより大きな粒子となり、地層の上下を判断する手がかりとなります。

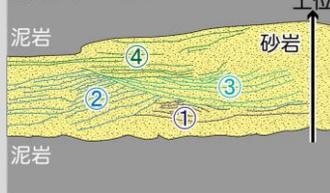
地層をよくみると、ひとつの層の中に細かい斜めの縞模様（ラミナ）が見られます。これは水の流れる方向に砂や泥が堆積することでできます。この縞模様を打ち切るように新たな砂や泥が降り積もる事で新たな縞模様がつくれます。そのため、斜めの縞模様を打ち切る縞模様がある側を上位と考えることができます。

※斜めの縞模様（ラミナ）の切った/切られた関係から、①→②→③→④の順につくられた事がわかる。そのため地層の上位は矢印の方向だと考えられる。

実際の露頭の写真



露頭のスケッチ



今月のトピック

- ・ワークシートの問題にチャレンジ！
（室戸市観光ガイドの会）
- ・室戸高校生が室戸ジオパーク推進協議会の総会にて防災の取り組み紹介。
- ・日本ジオパーク委員会審査事前確認【4日間】

室戸高校生が室戸ジオパーク推進協議会の総会にて防災の取り組み紹介。

6月2日に行われた室戸ジオパーク推進協議会の総会で、室戸高校3年生が1年次から取り組んでいる防災探究活動の成果を発表しました。「高校内だけの取り組みにするのではなく、より広く地域に向けて発信し、地域全体の防災意識を高めたい」という高校生たちの思いがあり、今回の発表が実現しました。

高校生が普段使用している校舎は室戸市の指定避難所でもあるため、災害後の避難所運営については防災探究活動の中でも特に関心の高い分野です。「あらゆる人がより安全に避難所で生活するために自分たちに何ができるか」ということを考え活動しました。防災探究活動の詳しい取組内容については、室戸世界ジオパークセンターエントランスにも掲示しています。ぜひご覧ください。

【発表スライドの一部】